

1. 社会福祉法人福生会 本部  
有料老人ホーム

令和4年度 事業報告書。

2. 養護老人ホーム福生園  
特別養護老人ホーム嘉齡荘  
居宅サービス事業

令和4年度 事業報告書。

社会福祉法人 福生会

1. 令和4年度 法人本部事業報告

(1) 理事会の開催

第1回 理事会 令和4年6月8日

- 主な議題
1. 法人本部 施設 各令和3年度事業報告
  2. 令和3年度決算及び財産目録報告
  3. 社会福祉充実計画（令和4年度～8年度）
  4. 施設長人事
  5. 育児休業に関する規程一部改正
  6. 定時評議員会の日時場所通知、提案議案  
理事長職務執行状況の報告

第2回 理事会（書面）令和4年6月20日

- 主な議題
1. 理事長体調不良のため評議員会の書面開催決議

第3回 理事会 令和4年11月23日

- 主な議題
1. 社会福祉充実計画について（再検討）
  2. 評議員会の日時場所通知、提案議案  
理事長職務執行状況の報告

第4回 理事会 令和5年3月22日

- 主な議題
1. 令和4年度補正予算書
  2. 法人本部 施設 各令和5年度事業計画書
  3. 令和5年度収支予算書
  4. 給与規則一部改正
  5. 介護福祉士修学資金貸付（一時帰国者）に係る連帯保証
  6. 評議員会日時場所通知 提案議案  
堺市令和5年2月15日運営指導結果報告

(2) 評議員会の開催

第1回 （定時）評議員会書面開催 令和4年6月24日

- 主な議題
1. 法人本部 施設 各令和3年度事業報告
  2. 令和3年度決算報告
  3. 社会福祉充実計画（令和4年度～8年度）

第2回 評議員会 令和4年12月2日

- 主な議案
1. 社会福祉充実計画（再検討）  
理事長職務執行状況の報告

第3回 評議員会 令和5年3月30日

- 主な議案
1. 令和4年度補正予算書
  2. 法人本部 施設 各令和5年度事業計画書
  3. 令和5年度収支予算書  
堺市運営指導結果報告

(3) 監事監査の実施 令和4年6月6日

#### (4) 社会福祉充実計画について

社会福祉充実計画は、平成29年度～令和4年3月（5か年計画）は本館建替え用地取得、フロイデンハイム外壁修理、主に昭和54年築本館設計立替建築の計画でした。行政確認したところ、都市計画法により6m道路に面していないので建築用地として不可となり用地取得は保留、建築計画は見直し検討となり、平成30年8月には、フロイデンハイム外壁修理の工事見積を取りましたが、9月大型台風による被害状況が法人会館、本館、西館、フロイデンハイムなど、修繕見積り火災保険申請に追われ、外壁修理は見送り、令和2年台風被害の修理は終了しました。令和3年度進捗ないまま終了。令和4年度から新規に計画を立て直す。

令和4年6月において社会福祉充実残額に対する計画として5か年計画を立てましたが、社会福祉充実残額の半額以上を消化していない等の理由により、再審議することとなりました。再審議の結果、本館を建替える計画を立案しましたが、敷地内での建替え事業は大規模であり、5か年という短期間での検討及び実施は困難であることが想定されたことから、計画期間を10年とし、慎重に進めていくこととなりました。併せて職員育成事業として専門性の向上により利用者へのサービスの質を向上させる目的で、資格取得支援事業を継続して実施していくとともに、遠隔地からの入職を促進する目的で新規採用時における家賃補助制度を創設しました。また、有料老人ホームフロイデンハイムは築30年を迎え、入居者様が高齢化していることも鑑み、生活環境向上のため、共用部、居室、外壁等大規模改修を実施していきます。

なお、地域公益事業として継続してきた「みんなの食堂」は、法人独自で取り組む地域における公益的な取り組みとして今後も目の前の困っている方に対する支援として継続していきます。

#### (5) 有料老人ホーム運営について

運営懇談会を年2回、実施し、会計報告（決算）、アンケートを実施し、令和4年度は消防設備入れ替えを行いました。令和4年度は新たな入居契約は8名様、死亡退去11名様（内ロイヤルケア6名）、残念ながらご家族様への退去1名様あり、現在の空き室は31室となっています。ロイヤルケア・フロイデンは、フロイデンより6名様移動、空室5室となりました（令和5年1月よりロングショートステイの方、6月正式入居されました）。

新規入居者様には見学、体験入居等抗原検査に協力していただき新入居促進できました。

令和2年3月以降は一部行事休止、ボランティアはお断りをしてお花見、クリスマス会をしました。緊急事態宣言中、まん延防止中はできるだけ面会はウェブかガラス越し、買物送迎休み、サロン飲食禁止等感染防止にご協力いただいています。感染状況の落ち着いている時は買物、音楽サロン、アートフラワー実施しました。受診付添い等は個人支援で対応しています。外出面会制限のためか認知症進行あり家族に引き取られる方がお1人ありました。令和5年3月には面会の全面的再開をし、入居者の生活の質を改善するように心がけています。5月からは居室内面会、6月からは家族様宿泊していただいています。

5年度の食費の値上げと居室そうじ道具個人購入の件でミニ懇談会を開き必要性を説明しご理解を得ました。（入居状況および行事等実施状況は別紙のとおり）

#### (7) 養護老人ホーム、特別養護老人ホーム嘉齢荘入居建物の耐震補強工事および増改築について

令和3年度事業報告で報告している通りの下記事項は、令和5年1月において堺市から承認を受けた社会福祉充実計画に踏襲され、10か年計画に亘る建替え事業として取り組んでいくこととなりました。なお、引き続き老朽化に伴う設備更新は立替えを見越しながら適時対応していきます。

平成27年の本館建物（昭和54年竣工）の耐震診断の結果を踏まえ、堺市介護事業者課および高齢施策推進課へ計画を説明しましたが堺市等からの補助については耐震化工事に若干の補助金が出るものの増改築工事には補助はなく全額自己資金となります。

29年度は用地取得を計画しましたが、都市計画法において使用できないため用地購入は保留、30年度は他施設視察、現在の敷地内での建て替えを検討、しかし定員割れの現状を鑑み、運営状況の厳しさに建替えを中止しました。建替えずに耐震化改修をするか、養護老人ホームの制度が継続するかも見定め建替えるかを引き続き検討、建物老朽化に対しては適時対応します。令和3年度は本館屋上防水工事、令和4年度は本館冷房チラー取替工事、敷地内電気工事をしました。その際一晩停電した影響で本館エレベーター修繕しました。

#### (8) 社会貢献事業について

コロナ禍においても社会福祉法人の地域における公益的な取り組みとして、『大阪しあわせネットワーク』に引き続き参加し、基金の拠出、当会所属のコミュニティソーシャルワーカーの相談支援業務への参加、生活支援物資の保管場所の提供、全国社会福祉協議会とフードバンク提供食料配布などを実施しました。

28年10月から「ぬくもりカフェふせお」（厚生労働省新オレンジプラン（認知症施策）に基づく堺市の認知症予防対策）は、令和2年3月より休止しています。

「こども食堂」は平成29年3月から二ヶ月に一度「みんなの食堂」と名付け、こどもだけでなく大人、高齢者、大学生など、食事提供と学習支援、レクリエーションを行い大盛況でした。現在はコロナ感染防止のため、食材提供のみしています。令和4年3月に全国社会福祉協議会より20万円補助を受け、ひとり親家庭への食材プレゼントを実施しています。4年度は全社協より30万円分補助を受け、引き続き食材配布をいたしました。また、月1回、中区子ども食堂ネットワーク”いつつぼし“の会議に参加し、地域ニーズの把握に努めながら、令和5年2月19日に原池公園にて行われたフェスタに、いつつぼしブースとして出店し、300名程がいつつぼしブースに来場され、こども食堂の啓発活動を行いました。

29年5月には地域協議会を開き、「みんなの食堂」は、生活困窮者に日々食事提供をすることを地域の福祉関係者（自治会、ボランティア、民生委員、社協等）に承認され実施してきました。令和2年、3年、4年とコロナ禍のなかでも生活困窮者のために続けてきた所、厚生労働省ホームページに社会福祉法人の「地域における公益的な取り組み」好事例集に紹介されました。（令和4年2月2日～22日福生園コロナ発生時は中止）

毎日型みんなの食堂は、令和4年4月～5年3月末269食提供。（令和元年度は562食、2年度は320食、3年度372食）堺市での新型コロナ感染者数は一時一日100人を超え、外部の方を食事に受け入れることは感染の心配する声もありました。入り口では健康チェック、テーブル上はアクリルボード、毎回消毒し、今日まで感染者を出さずに実施してきました。（クラスター発生時においては、食事は中止し、食材を提供）

職員資格取得応援は実務者研修修了者2名・初任者研修修了者1名に対して実施した。職員紹介制度は4名（正職3名・非常勤1名）の入職があった。

## 2. 各施設事業運営状況

今年度は全事業において新型コロナウイルスの影響を大きく受けた年度となりました。利用者の活動制限や各種行事の中止・規模縮小、在宅サービスの休止・利用制限、家族等との面会制限など、利用者の生活や提供するサービスに影響を与え、家族支援・対応も含めてきめ細かな対応が求められました。運営状況として、介護老人福祉施設、短期入所については閉鎖しているエリ

アの稼働が目下の課題であり、令和4年度において平成31年より閉鎖しているエリアを稼働させることができましたが、依然として残る1つの休止エリアを稼働させなければならないという課題が残っています。通所介護および訪問介護については、福生園特定利用者へのサービス委託量の減少等の理由により当初計画通りの稼働率を確保できず、利用者が安定的に増加しなければ今後も起こりうることのため、特定利用者へのサービス委託に依存しない抜本的な施策を検討しています。居宅介護支援はケアマネが減員しましたが、令和3年度報酬改定で導入されたICTを活用した居宅介護支援費を今年度より算定したことにより、減員の影響はそこまで受けておりません。養護老人ホーム福生園は新規入所より退所が多く、入居率の低下傾向が止まりません。要介護状況も重度化し特養への移動、入院が増加しています。

福生園は、令和2年度において生活困窮者契約入所事業を申請しているため、養護の空き室を利用して、本来の養護に措置入所対象外の方との賃貸契約を結ぶことができますのですが、令和4年度契約入所はなく、要因としてはコロナ禍では見学、新規利用を勧めにくい状況でした。

夫々事業報告および決算報告は別紙のとおりです。

- \* 「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」内閣府（令和2年2月25日）、厚生労働省介護保険課通達を受け、手洗い、消毒、マスク着用、検温。利用者様、職員だけでなく外来者（業者等）確認。不要不急の外出、面会、他医療機関受診、外部介護保険サービス等控えていただくようお願いしてきました。緊急事態宣言解除後もできるだけ継続し、「新しい生活様式」を守りながら、感染防止を第一に、発生状況を確認、運営してきました。行事、面会、外出等の機会が減少し、中には、認知症の進行、日常生活動作の低下が見られる方もあり、特に精神的不穏や問題が見られる方はご家族に検査を受けて頂き対面面会をしていただきました。外出面会制限への不満から退所された方があります。令和5年度からは面会復活しています。

令和4年2月養護老人ホーム福生園入所者6名様初めてクラスター発生、内3名様5月になって死亡されました。

堺市は高齢者施設職員に令和3年3月PCR検査を2回、5月6月、令和4年3月3実施、全員陰性でした。2月福生園感染者発生中の職員検査は法人で随時実施し感染者は派生しませんでした。堺市内では70の高齢者施設でクラスター発生しましたが当施設は該当しません。

しかし令和4年7月末フロイデンハイム入居者様3名入院、職員7名感染し軽症で回復しました。12月入居者3名様軽症、入院せず回復しました。

8月には特別養護老人ホーム嘉齢荘入居者15名様、12月入所者20名（内2名様死亡）職員多数の大クラスターとなりました。ご逝去された方には真に申し訳なく損害保険からお見舞いさせていただきました。

12月には養護老人ホーム福生園入所者25名職員7名感染、いずれも軽症で回復されましたが、家族様から不満が出て1名他施設へ移動されました。新年祝賀委は取りやめ、おせちお屠蘇も居室にて配膳となりました。

新型コロナウイルスワクチン接種は、令和3年5月、6月、4年1月、7月末から8月、12月5回目を施設入所者と職員に接種しました。令和5年現在は6回目ワクチンの準備を進めています。嘱託医により抗ウイルス薬も準備されています。

大阪府からの要請、令和4年5月22日から高齢者施設職員3日に一回頻回検査は9月末までの予定です。ワクチン接種、施設内療養者発生時に速やかに治療が出来るよう治療薬の導入、感染防止対策をした面会の再開、認知症の利用者にもマスク着用等クラスター発生防止に努める事等。

## I. 施設サービス

### 1. 施設環境

#### (1) 施設設備関係

令和4年度、フロイデンハイムの自動火災報知設備警報装置取替工事1254万円、浴槽ろ過装置修理に114万円、変電設備更新74万8千円、陰圧装置110万円、ロイヤルケアフロイデンの防水工事に25万円かけて実施致しました。新規入居申込に対応し、お部屋の内装や水回りを約288万円で修理致しました。

防災設備の面では、令和4年4月実施の消防設備の入れ替え工事（玄関、事務室、各居室）、自動火災報知設備取替工

事説明会を入居者対象に令和4年3月に開催しました。エレベーターの定期点検の実施・維持管理を積極的に行うとともに、浴室・温水プール、建物周囲の衛生管理に努めました。

#### (2) 職員関係

令和4年度介護職員は基準値以上を配置し、より手厚い介護を提供できるよう努めました。資格取得の推進、さらに施設内・外の研修により職員の資質の向上に努めています。令和4年度に清掃業務から介護職員へ契約変更をした非常勤職員は現在実務者研修を受講中です。産休、育休中の職員が順番に復職し、3名が時短勤務し、年度末時点で1名が育休継続中です。採用は、看護師（正社員）1名、事務（正社員）1名、介護職（非常勤職員）5名、調理補助（正社員・非常勤職員）各1名、プール見守り（非常勤職員）1名採用しました。大阪府による抗原検査を5月6日から3日に一度、全職員が任意で行いました。武庫川女子大学食物栄養学部の実習生の受け入れも実施しました。

### 2. 入居者処遇状況

- (1) 入居者の自主性の尊重と個別のニーズにお応えできるよう、よりよいサービスの提供に努め、年間行事実施状況表（別紙3）の通り、レクリエーション・諸行事を実施いたしました。令和4年度は新型コロナウイルス感染防止のため、毎年のバスツアー、外食、盆踊り、夏祭り、ボランティア導入、絵画教室、コーラス部、カラオケ等は中止しました。感染症が落ち着いている時期は、買い物送迎支援や外出支援、病院受診付添やお花見ドライブや喫茶を実施しました。アートフラワー教室は月1回実施し、2部制で5名ほど参加しています。

敬老祝賀会はピアノ演奏者とソプラノ歌手を招いて演奏会、クリスマス会は感染症発生後のため急遽食事会のみに変更し楽しみました。新年祝賀会は例年通り実施し、初詣は多速比売神社へ代表して理事長がお詣りし、入居者の皆様はロビーにてお賽銭箱設置しリモートでお

詣りして頂きました。

- (2) 毎月の尿検査・血圧測定、X線検診等を実施し健康管理に努めるとともに、必要な医療・看護職員を配置し疾病の予防と治療を行いました。新型コロナワクチンを令和4年7月と12月に希望する入居者と職員が嘉齢荘診療所医師により2回接種しました。新型コロナウイルスは初めて入居者3名様が7月に罹患し、12月に2名様が罹患されましたが、いずれも軽症。また常勤の柔道整復師による機能回復訓練も感染防止のため小グループに分けて行いました。虐待防止、身体拘束廃止、感染症防止にむけた取り組み、発生シュミレーション強化研修いたしました。

### 3. その他

- (1) 運営懇談会 入居者に対し、サービス満足度調査を主とするアンケートを実施し、その結果報告を基に運営懇談会を6月と3月に開催いたしました。R5年4月1日より食費の値上げを実施することに向けて、令和5年2月に書類配布し、3月に説明をしました。R5年6月1日より居室の清掃サービスはご入居者様の掃除道具を使用させて頂きたい旨3月に説明し、掃除道具をお持ちではない方の支援をさせて頂きました。
- (2) 防災関係 令和4年度は自動火災報知設備取り替えの届け及び自主点検報告書の提出を行いました。また、消防総合訓練を年2回行いました。

## II. 特定施設入居者生活介護・介護予防入居者生活介護サービス

令和4年度はフロイデンハイム入居者58名（R5.3.31現在）中、要支援者11名 要介護者33名 計44名に特定施設入居者生活介護サービスを提供いたしました。（別紙1参照）。

入居者様の加齢に伴い、認知症の発症も増え、生活全般にわたる介護を必要とされる方が増えています。個々の介護サービス計画に基づき、生活援助及び身体介護サービスを提供いたしました。また令和2年3月からの外出・面会制限によるADL低下防止のため、ズームやガラス越しでの面会、2月からは創作室にてマイク付きパティション越しの対面面会を再開いたしました。

ショートステイのご利用から入居に至ったケースや定期的にご利用くださる方もあります。コロナ対策の為、ショートステイ利用も抗原検査のご協力をお願いして受入れしました。新たな入居者様、転入時のご家族様も抗原検査の上入っていただきました。ワクチン接種と抗原検査を勧め、感染拡大防止対策を優先ではありましたが、サービスの向上に努めました。

養護老人ホーム福生園・特別養護老人ホーム嘉齡荘・居宅サービス事業  
令和4年度事業報告書

I. 施設サービス

1. 施設運営

(1) 施設運営設備関係

養護老人ホームの入所要件を満たす対象者や入所希望者が減少し、措置控えや他の高齢者施設への入所等により入所依頼は低調です。現場では、介護度の重度化への対応、また、新規入所者の獲得のため市地域福祉をはじめ介護支援専門員や地域包括支援センターへパンフレットを作成し、継続して働きかけに努めています。入所状況は、年度初日在籍者48名、新規入所7名、退所者28名（入院23名死亡5名）、年度末在籍者44名、年平均在籍者数は45.0名となっています。

特別養護老人ホームは新型コロナウイルスに罹患した入所者の入退院と新規入所者の増加により、入所76名、死亡入院等による退所71名（入院57名死亡14名）となっています。稼働状況としては、短期入所を含め、新規入所および新規利用、単発利用、退院入所を感染状況に応じて制限していた時期があったため稼働率は75.2%となっています。昨年度より取り組んでいる経営会議を継続し、稼働状況の改善や課題整理に寄与しています。

その他の居宅サービス事業では、職員が新型コロナウイルスに罹患したことにより、全サービスを見合わせていた時期があったため、訪問介護で稼働率が低下しました。また通所介護でも新型コロナウイルス感染拡大により新規登録者の減少や利用控え等の影響を受けました。

建物、設備、備品は、経年劣化や汚損がみられるものについて適宜補修を行い、耐用年数を経た設備・備品についても逐次入れ替えを行い安全快適な環境の整備に努めました。修繕積立金等を取り崩し、福生園および嘉齡荘入所者が居住する本館の水冷チラーを更新しました。また、本館西館で使用してきた変電設備ですが、経年劣化による更新時期が来たため、夜間に計画停電を実施し、変電設備の更新を図りました。

また、主として介護保険総合システム、財務会計システムおよび給与計算システムの稼働により各々業務処理が円滑にできました。音声入力や通信機能付き測定器（体温計、血圧計）を活用したバイタルチェックの自動送信による記録のICT化やオンラインによる会議、研修および面会の実施のための器具設備を整備し活用しています。

さらに、防災設備、エレベーター等の定期点検の励行・維持管理を遺漏なく行い、施設内外の衛生管理および設備の衛生化に努めました。

(2) 職員関係

令和4年度の採用活動については、ハローワーク、ネット求人、就職フェア、求人採用サイト設営、高校新卒求人、成功報酬型求人等を行いました。採用活動の結果として、常勤介護職の新卒が3名、中途採用4名退職1名、看護職2名退職1名、栄養士1名、調理師2名退職1名、事務職1名退職1名という状況です。

介護福祉士資格の取得支援のため実務者研修の受講費の補助などを継続実

施し、初任者研修1名・実務者研修2名の支援を行いました。また、介護支援専門員等資格取得の推進、さらに施設内・施設外の研修により職員の資質の向上に努めています。

ベトナム人留学生2名が令和5年4月より特別養護老人ホーム嘉齢荘にて正職登用の予定でしたが、1名は出産のため母国に一時帰国し、また、もう1名は大阪府下の介護事業を運営する他法人に転籍したため、当初想定していた外国人の介護人材の定着という目的は達成出来ておりません。

職員の新型コロナウイルス感染対策として、基本的な感染予防対策とともに全職員に対し、抗原検査を3日に1回実施することを継続しています。

## 2. 入所者処遇状況

入所者の自主性の尊重と温かな家庭的雰囲気の中での明るく楽しい生活を基調とし、日課表（別紙）に示した食事、入浴、排泄、リハビリ訓練等の基本的サービスに重点を置き処遇に努め、さらに年間処遇実施状況表（別紙）のとおりレクリエーション・諸行事等を実施しました。今年度は新型コロナ感染対策を実施しつつ、長期において見合わせていた訪問による理美容、歯科診療・ケアや家族の面会を、感染状況を見定めながら再開しました。しかしながら新型コロナウイルス感染者が多く発生した7月と12月においては感染拡大防止の観点から施設内での移動制限もかなり厳しく行ったため、入所者のADL低下、認知症進行、精神的ストレスの増大など肉体的、精神的にかなり影響を及ぼしたものと思われます。また、個々の入所者の心身状況に応じた施設サービス計画に基づきサービス提供を行い、身体拘束廃止に向けた取り組みを継続実施しました。

## 3. その他

- (1) 防災関係 堺市中消防署の立入検査においては特に改善指示事項もなく、当局立会の消防総合訓練ならびに自主訓練を励行しました。
- (2) 各種専門学校等の研修・実習の受入 社会教育の一環としての小学生の高齢入所者とのコミュニケーション体験や中学生の職業体験は新型コロナウイルス感染症の影響により受け入れを見合わせておりますが、福祉専門職養成の各種専門学校の実習、管理栄養士臨地実習に関しては、感染状況を見定めながら受入れを実施しました。
- (3) ボランティアの活用 喫茶ボランティアによる活動は新型コロナウイルスの影響により見合わせております。
- (4) 情報等の開示 「財務諸表等電子開示システム」、「介護サービス情報の公表」および弊社ホームページ等において法人および各施設、事業所の運営、介護保険サービス等に係る諸情報を広く開示し透明性の確保に努めました。
- (5) 社会貢献事業等の実施 平成16年より大阪府社協老人施設部会が実施している社会貢献事業(生活困窮者レスキュー事業)が平

成27年度から「オール大阪の社会福祉法人による社会貢献事業」として展開され、同貢献事業に継続して参画し、基金の拠出、当会所属のコミュニティソーシャルワーカー（CSW）の相談支援業務への参加、生活支援物資の保管場所の提供などを実施しました。

毎日型の『みんなの食堂』は感染対策を徹底し、クラスター期間を除き、年度を通して実施しましたが、地域の介護者、被介護者、高齢者などの交流、情報交換および情報提供の機会の提供のための『ぬくもりカフェふせお』や、隔月実施の『みんなの食堂』（こども食堂）は新型コロナウイルスの影響により開催を停止しています。

## II. 居宅サービス、居宅介護支援サービス

### 1. 外部サービス利用型特定施設入居者生活介護

養護老人ホーム福生園入所者定員70名のうち特定施設対象者定員を30名に設定していますが、利用者の実数は年度を通じて6名程度で推移しています。新型コロナウイルス感染症の陽性者が発生したことにより、隔離体制期間中は訪問介護および通所介護サービスの利用を全面的に停止しました。基準人員の職員を配置し入居者生活介護サービスを提供しました。また、外部サービスについては、前年度と同じく福生会デイサービスセンター（通所介護）、福生ヘルパーステーション（訪問介護）およびアビリティーズ・ケアネット（福祉用具貸与）に委託しました。

### 2. ヘルパーステーション

利用者の居宅へホームヘルパーを派遣し、介護サービス計画に基づき、生活援助および身体介護サービスを提供しました。要支援者等には総合事業として介護予防・生活支援サービスを実施しました。令和4年度は職員に感染者が発生したため、サービス提供を控えていた時期があり、12月のサービス提供量が大幅に減少しましたが、福生園に対する特定受託利用回数が115%となったため、介護保険事業収入が前年比111.7%となっています。

### 3. デイサービスセンター

センターにおいて、介護サービス計画に基づき、日帰りで食事、入浴、余暇活動など各種サービスを提供しました。令和4年度は新型コロナにより活動を控えていたカラオケやレクリエーション、諸行事を徐々に再開しました。また、既存の活動だけでなく、今年度末よりスキージャンプ等のEスポーツを大型スクリーンで楽しんでいただける新しいメニューを増やし、サービスの質的量的維持及び拡充に努めました。その一方、新型コロナウイルス感染が拡大した時の影響として、利用控え等は依然として有り、稼働率が低迷する主要因となっています。今年度の平均稼働率は74.3%、介護保険事業収入は前年比102.5%と増加しております。

### 4. 居宅介護支援事業所

利用者のケアプラン作成、プランに基づく居宅サービス利用の支援を行うとともに、要介護認定調査を受託実施しました。また、地域包括支援センターより介護予防計画の原案作成業務を受託しました。

今年度の支援件数は延べ居宅介護支援993件、介護予防計画483件でした。今年度の年度末において人員が4人から3人に減少しましたが、令和3年度報酬改定で見直されたICT導入等するケアマネ事業所の逡減制見直しにより導入された居宅介護支援費（II）を今年度より算定し、担当者件数の上限を40件未満から45件未満まで減算無しで引き上げ、かつ、1人当たりの持ち件数を増やしたため、介護保険事業収入は前年比105.2%と増加しております。

Ⅲ. 各事業の運営細部内容は別紙のとおりです。